

農薬散布用ドローンが導入されました①

令和2年8月11日、令和2年度鹿屋市スマート農業実践化支援事業（スマート農業機器導入支援事業）により、市内の農業者団体（さつまいも）に農薬散布用ドローンが導入されました。

導入後の実証結果として、**散布時間は導入前（歩行散布（動噴利用））の1haあたり73分から、1haあたり10分以下と9割近く削減**されたことが確認されました。

また、**作業労力は、従来はさつまいもの蔓で歩行が困難な中、夏季の暑熱にさらされながら行っていた作業が無くなり、大幅な軽減**に繋がりました。

操作についても、一度飛行したほ場の情報は記録され、次回の散布時は半自動で作業を行うことができるということです。

導入した農業者団体では、削減効果で生まれた余裕を、ほ場の管理や経営管理の時間に充て、収益性等の向上を図っていきたいと話しています。

